

Q まちづくり協議会 ってどんなところ？

A 地域の特徴を生かした住みよいまちを
つくっているところです。
第2回：岡山・金田・桐原学区編

まちづくり協議会（略称：まち協）は、地域に住む人や団体などからつくられている組織で、ほぼ小学校区ごとに分けられており、市内に11団体あります。各学区コミュニティセンターを拠点に、体育祭や文化祭などのイベント、防犯・防災活動、健康づくり、人権啓発、子育てなど、さまざまな事業を行っています。

これらまち協の活動のなかで、それぞれの地域の特徴や「イチオシ」事業を4回に分けて紹介します。第2回目の今回は、岡山・金田・桐原学区のまちづくり協議会を紹介します。

問 まちづくり協働課 TEL (36)5552・FAX (36)5553

岡山学区まちづくり協議会

地域の特徴と事業のこだわりポイント！

▷ 歴史ある農村に新しい風が吹く。誰もが参加したくなる、楽しい事業を展開します。

歩いて見よう！岡山



家族や友人と「岡山のいいところ」を巡るウォーキングイベントです。意外と知らない道や風景、寺社の歴史文化を知ることができ、地域の魅力を再発見できます。自分たちのペースで歩くことができ、幼児から高齢者、障がいのある人など、幅広い人たちに参加いただいています。

ジュニアリーダー



小学4～6年生を対象にした「岡山活動ジュニアリーダー」では、琵琶湖清掃や文化祭のバザーの手伝い、キャンプを兼ねた避難所宿泊体験など、さまざまな活動を地域の人と一緒にしています。次世代を担う子どもたちと、地域をつなぐ事業です。

みんなで活動内容を
考えています♪



岡山活動ジュニアリーダーの皆さん

価値観の多様化や少子高齢化など、社会環境の変化に対応した事業を行っています。誇りと魅力あるまちづくりを長期的に推進するため、事業ごとに人材育成を行っています。「やりたい」「できる」事業をコンセプトに、ワクワク・ドキドキを感じさせる工夫を常に考えています。

金田学区まちづくり協議会

地域の特徴と事業のこだわりポイント！

▷ にぎわいあふれ、利便性が高いまち。
地域の安心安全を守る取り組みを行います。

防災訓練



実際の災害時を想定し、学区を4つの地域に分け、それぞれの拠点となる建物で防災訓練を行っています。これまで避難所の開設や避難誘導、防災テントの設置・収納、物資の輸送・受け取り訓練などを、自治会や消防団などと協力して実施してきました。

また、防災意識の向上と、もしもの時の自助・共助体制づくりのため、防災の講師を招いた講習会や各種会議などを、年に10回以上開いています。

みんなが安心して暮らせる
お手伝いをしています！



左から職員の宮野元秀さん、
富江茂樹さん、松本奈緒美さん

子どもから高齢者まで、誰もが安心して生活できるまちにするため、防災・防犯・子育てなどに、特に力をいれています。「手をつなぎ 創ろういいまち いい金田」をスローガンに、これからも創意工夫した事業を進めていきます。

桐原学区協働まちづくり協議会

地域の特徴と事業のこだわりポイント！

▷ 市内最多の人口、多様な人材が集う。人と環境にやさしいまちづくりを目指します。

段ボールコンポスト



桐原まち協は地域住民の団体として、全国で初めて「省エネ脱CO₂宣言」を行いました。環境問題をまちづくりに反映し、住民一人ひとりがCO₂削減を心がける取り組みを続けています。その1つが段ボールコンポストで、家庭から出る生ごみを堆肥に変えることで燃焼ごみの量を減らす、排出するCO₂を削減しようとする取り組みです。住民に呼びかけて、できた堆肥を使った米作りの試験も3年前から行っています。

たくさんイベント行ってます
ぜひ参加してください★待ってま～す！



馬場清一センター長（後列右から
2番目）と職員の皆さん

次世代を担う子どもたちのためにも、「自分たちのできることから始める」を軸に、環境問題に取り組んでいます。また、学区全体の問題になり始めた高齢化に対して、健康を目指した事業や地域福祉の事業に、「まち協だからできる」取り組みを積極的に行っています。